

令和元年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	市民農園に要する経費	会計	款	項	目	多額 経費
		一般	6	1	3	
政策	33活力ある産業を育成します	担当課室	農業振興課			
施策	331都市農業の育成	担当課室長	坂居 由一			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	未利用区画の解消に向けた取り組みを検討する。	③令和元年度に取組む改革・改善内容	引き続き、未利用区画の解消に向けた取り組みを検討する。 また、8月末で廃止となる西佐津間市民農園の代替地を検討する。
②①に基づく取り組み結果	環境整備等に取り組み、利用者の利便性の向上に取り組んだ。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	野菜栽培を愛好する市民	意図(対象をどうするのか)	農業理解の契機とする。
②事務事業の概要	市街化区域内にある農地を借り受け、市民に農園の貸付を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	都市化が進む中で、農業と市民が触れ合う貴重な機会として需要があり、今後も継続して利用希望があると予想される。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成30年度の事業の成果	171区画中、155区画の農園貸付を行い、農業理解の契機とした。						
②成果を表す指標	指標名称		平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	算定根拠
	i	市民農園の利用区画数	151	154	155	区画	業務取得
	ii	巡回時の農業士への相談件数	27	11	22	件	業務取得
iii							
③事務事業のコスト	平成29年度決算	平成30年度決算	平成30年度決算(事業費)の主な内訳		令和元年度予算		
事業費(千円)	3,058	2,804	金額(千円)		内容		2,794
国支出金(千円)			2,793		市民農園用地借上		
県支出金(千円)			1		保険料		
市債その他(千円)			10		消耗品費		
一般財源(千円)	3,058	2,804					2,794

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	未利用区画を無くすための方策を検討する必要がある。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	市民が野菜等の栽培を通じて自然にふれあうとともに、農業に対する理解を深める場の提供となるため。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成30年度の計画	平成30年度事業費の状況(単位:千円)				
	計画事業費	予算額		決算額	
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H29からの繰越
		H29⇒30繰越			
③達成状況		補正			現年分
④未完了・非着手の理由	令和元年度への繰越額(単位:千円)				

令和元年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	果樹剪定枝等堆肥化事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	6	1	3	
政策	33活力ある産業を育成します	担当課室	農業振興課			
施策	331都市農業の育成	担当課室長	坂居 由一			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	バイオマス発電への活用について引き続き精査し、事業の移行についても検討を行う。	③令和元年度に取り組む改革・改善内容	バイオマス発電への活用について引き続き精査し、事業の移行についても検討を行う。
②①に基づく取り組み結果	回収した剪定枝の一部について、バイオマス発電への活用を試みたが、発酵状況により不益なものとなった。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	果樹剪定枝等	意図(対象をどうするのか)	堆肥化
②事務事業の概要	果樹剪定枝等の回収を行い、剪定枝を原料とした堆肥を生産する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	平成26年度から「鎌ヶ谷市果樹剪定枝等リサイクル事業推進協議会」が当該事業を引き継ぎ、堆肥の販売を行うとともに、バイオマス発電への活用について検証する。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成30年度の事業の成果	約254tの剪定枝量を回収し、そのうちの約154tの堆肥化を進め、約100tをバイオマス発電に係る実証に用いた。また、市民向けに堆肥を約21t販売し、28,490円の販売収入を得た。						
②成果を表す指標	指標名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	算定根拠	
	i	梨剪定枝回収量	679	904	706	m <sup>3</sup>	業務取得
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト	平成29年度決算	平成30年度決算	平成30年度決算(事業費)の主な内訳		令和元年度予算		
事業費(千円)	8,924	8,924	金額(千円)	内容	10,569		
国支出金(千円)			1,553	果樹剪定枝等堆肥化事業用地借上料			
県支出金(千円)			7,371	果樹剪定枝等リサイクル事業負担金			
市債その他(千円)							
一般財源(千円)	8,924	8,924			10,569		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	堆肥保管量が年々増加しているため、保管スペースの確保が必要。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	今後も引き続き精査・検証等を行い、剪定枝等リサイクル事業を推進する必要があるため。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成30年度の計画	借地料及び負担金	平成30年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	借地料及び負担金を支出	8,924	8,924	当初	8,924	8,924	H29からの繰越
				H29⇒30繰越			現年分
③達成状況	完了			補正			
④未完了・非着手の理由				流用・充当			
		令和元年度への繰越額(単位:千円)					

令和元年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	インターネット梨販売事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	6	1	3	
政策	33活力ある産業を育成します	担当課室	農業振興課			
施策	331都市農業の育成	担当課室長	坂居 由一			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	販売品種の増加、購入上限の撤廃、新たな販促イベント等の実施など、販売箱数増加に向けた取り組みを行う。	③令和元年度に取組む改革・改善内容	販売品種の拡大、ダイレクトメールの実施など、販売箱数増加に向けた取り組みを行う。
②①に基づく取り組み結果	販売品種に「新高梨」「かおり梨」を追加、購入上限の撤廃、東京スカイツリーや有楽町にて販促イベントを新規に実施した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	関東圏外の人	意図(対象をどうするのか)	梨の販売
②事務事業の概要	関東圏外に限定し、梨のインターネット販売を行う梨農家に対して、補助金を交付する。また、販路拡大のため、PR等を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	令和元年度まで、「地方創生推進交付金」を活用した事業として実施することを予定している。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成30年度の事業の成果	梨のインターネット販売において、豊水・新高(5kg箱)及びかおり(3kg箱)を合わせて1,200箱販売した。また、販売を促進するために、羽田空港やスカイツリー、有楽町等でPRイベントを開催した。						
②成果を表す指標	指標名称		平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	算定根拠
	i	鎌ヶ谷産の梨のインターネット販売額	4,200	3,958	3,240	千円	業務取得
	ii	認定農業者数	50	53	55	人	業務取得
	iii	新規就農者数	4	3	2	人	業務取得
③事務事業のコスト	平成29年度決算	平成30年度決算	平成30年度決算(事業費)の主な内訳		令和元年度予算		
事業費(千円)	0	4,190	金額(千円)	内容	4,632		
国支出金(千円)		1,969	580	羽田空港PRイベント業務委託	2,316		
県支出金(千円)			2,698	インターネット梨販売に係る補助金			
市債その他(千円)			277	市特産品販売に係る補助金			
一般財源(千円)		2,221			2,316		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	事業者が自立して取り組むための体制を構築する必要がある。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	インターネット販売により販路拡大、販売促進を図り「鎌ヶ谷の梨」のブランド力の増加に寄与するため。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成30年度の計画	補助金、ポスター作成等	平成30年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	補助金の交付、ポスター作成	4,632	4,632	当初	4,632	4,190	H29からの繰越
				H29⇒30繰越			現年分
③達成状況	完了			補正			
④未完了・非着手の理由				流用・充当			
		令和元年度への繰越額(単位:千円)				0	